

特務士官(機)	機關兵曹長	附	一人
特務士官(工)	工作兵曹長	附	一人
主計中少尉(主)	主計兵曹長	附	一人
兵	曹		四人(掌砲兵一、掌帆兵一、掌信號兵一、掌電信兵一)
整備	兵曹		一人(掌整備兵)
機關	兵曹		一人(掌機兵(罐))
工作兵	曹、工作兵		二人(掌工兵(木具))
主計兵	曹、主計兵		三人(掌經理兵一)
水兵	整備兵、機關兵		十一人
二、出水海軍航空隊(假稱)設立準備ニ充ツベキモノ			
特務士官(整)	整備兵曹長	附	一人
整備	兵曹		一人(掌整備兵)
工作兵	曹、工作兵		二人(掌工兵(木具))
主計兵	曹、主計兵		二人(掌經理兵一)

内令

二〇九七

2204

内令

二〇九八

水兵、整備兵、機關兵	十人
馬公警備府(臺中海軍航空隊(假稱)設立準備ニ充ツベキモノ)	
特務士官(工)、工作兵曹長	一人
工 作 兵 曹	一人(掌工兵(木具))
整 備 兵	四人
海南警備府(黃流海軍航空隊(假稱)設立準備ニ充ツベキモノ)	
特務士官(水)、兵曹長	一人
特務士官(整)、整備兵曹長	一人
特務士官(機)、機關兵曹長	一人
特務士官(工)、工作兵曹長	一人
主計中少尉(主)、主計兵曹長	一人
兵 曹	七人(掌砲兵四、掌帆兵一、掌信號兵一)
整 備 兵 曹	三人(掌整備兵)
機 關 兵 曹	三人(掌機兵一、掌電機兵一、掌内火兵一)

2205

工作兵曹、工作兵	五人(掌工兵 <small>〔機一〕</small>)
衛生兵曹、衛生兵	二人
主計兵曹、主計兵	八人(掌經理兵 <small>〔二〕</small>)
水兵、整備兵、機關兵	二十八人

内令第三千三百五十一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置シ昭和十七年十二月十五日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十七年十二月二十一日
海軍大臣 嶋田繁太郎

館山海軍砲術學校

大尉	教官兼分隊長	四人
中尉	附兼教官(教員)	八人
中少尉(水)、兵曹長	附兼教官(教員)	八人
兵曹	(教員)	四十八人(掌砲兵 高)

本人員ハ横須賀鎮守府第一特別陸戰隊及横須賀鎮守府第三特別陸戰隊ノ職員ヲ以テ充ツ

内令

二〇九九

2206

内令

二一〇〇

内令第二千三百五十二號

當分ノ間左ノ通各人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年十二月二十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一監視艇隊

第二監視艇隊

第三監視艇隊

中少尉(機)、機關兵曹長 隊附

一人

内令第二千三百五十三號

昭和十七年内令第三百五號中左ノ通改正ス

昭和十七年十二月二十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

人員ヲ左ノ如ク改ム

兵科 佐尉官

造船監督官兼
造兵監督官

一人

2207

特務士官(水)、(機)

造船監督官兼
造兵監督官 二人

兵曹長、機關兵曹長

造船監督助手兼
造兵監督助手 三人

兵曹、機關兵曹

造船監督助手兼
造兵監督助手 二十五人(特修兵適宜)

参照 前記内令ハ海軍艦政本部ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第二千三百五十四號

昭和十七年内令第四百六十號中左ノ通改正ス

昭和十七年十二月二十一日

海軍 矢 臣 嶋 田 繁 太 郎

人員ヲ左ノ如ク改ム

第十一航空艦隊司令部

兵 曹、水 兵

十一人(掌電信兵 九(内横須賀鎮守府在籍者) 二(内横須賀鎮守府在籍者) 八)

第四艦隊司令部

内 令

二一〇一

2208

内令

二一〇二

第八艦隊司令部

兵 曹、水 兵

七十一人

掌電信兵 六三 (横須賀鎮守府在籍者)
掌暗號兵 八 (横須賀鎮守府在籍者) (一五七)

中少尉(水)、兵曹長

附

一人 (佐世保鎮守府在籍者)

兵 曹、水 兵

五十八人

掌電信兵 四八 (内 吳鎮守府在籍者 三五)
掌暗號兵 一〇 (佐世保鎮守府在籍者)

機關兵曹、機關兵

二人 (掌内火兵 一)

参照 前昭内令ハ第十一航空艦隊司令部等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第三千三百五十五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年十二月二十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十一航空艦隊司令部

中少尉(水)、兵曹長

附

一人

内令第二千三百五十六號

昭和十七年内令第二千八百八號中左ノ通改正ス

昭和十七年十二月二十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

減員ノ部中「佐世保、第七〇三、第七〇五、第七五五海軍航空隊」ヲ「追濱、岩國、佐世保、第二〇一、第七〇三、第七〇五、第七五五海軍航空隊」ニ改メ第七〇七海軍航空隊ノ項ヲ削ル

参照 前記内令ノ第一航空基地隊等ノ人員臨時増減ノ件ナリ

内令第二千三百五十七號

昭和十八年十二月三十日迄左ノ通各人員ヲ臨時増減シ昭和十七年十二月一日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十七年十二月二十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

増員

第四艦隊司令部

内令

二一〇三

2210

第二航空戦隊司令部	技 師 附	兼務一人(氣象)
第十一航空艦隊司令部		
第二十二航空戦隊司令部		
第五特別根據地隊		
第四十三警備隊	技 手 附	一人(氣象)
減員		
横須賀海軍航空隊		
鈴鹿海軍航空隊		
第七五一海軍航空隊		
第七五五海軍航空隊	技 手 附	一人(氣象)

2211

内令第二千三百五十八號

昭和十八年十一月三十日迄左ノ通人員ヲ臨時増置シ昭和十七年十二月一日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十七年十二月二十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

聯合艦隊司令部

中少尉(水)、兵曹長

附

三人(横須賀、吳、舞鶴鎮守府在籍者各一)

兵

曹

一人(掌機雷兵 水測 高)

内令第二千三百五十九號

昭和十五年内令第六百三十四號、同年内令第七百二十三號、同年内令第一千三十三號、昭和十六年内令第一千二百十八號及同年内令第一千五百七十六號中「昭和十七年十一月三十日迄」ヲ「昭和十八年十一月三十日迄」ニ改メ昭和十七年十二月一日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十七年十二月二十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

二一〇五

2212

昭十五年内令第六百三十四號ハ昭和十七年十一月三十日迄軍艦香取等ニ人員臨時増置ノ件
 同年内令第七百二十三號ハ昭和十七年十一月三十日迄第一艦隊司令部等ニ人員臨時増置ノ件
 同年内令第七百三十三號ハ昭和十七年十一月三十日迄軍艦青葉ニ人員臨時増置ノ件
 昭十六年内令第七百二十八號ハ昭和十七年十一月三十日迄第一艦隊司令部等ニ人員臨時増置ノ件
 同年内令第七百七十六號ハ昭和十七年十一月三十日迄第三艦隊司令部ニ人員臨時増置ノ件

内令第二千三百六十號

昭和十五年内令第六百六十八號中「昭和十七年十一月三十日迄」ヲ「當分ノ間」ニ改メ昭和十七年十二月一日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十七年十二月二十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 前記内令ハ同號第三十四潜水艦ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第二千三百六十一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年十二月二十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

2213

聯合艦隊司令部（潜水艦用特殊大發艇員ニ充ツベキモノ）

兵 賣、水 兵 十人

機關兵曹、機關兵 十人

内令第二千三百六十二號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増減ス

昭和十七年内令第千三百四十五號ハ之ヲ廢止ス

昭和十七年十二月二十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

軍艦瑞鳳

増員

兵科 尉官 乗組 三人

中少 尉(飛) 乗組 三人

中少 尉(整) 乗組 一人

飛行兵曹長 二人

内令

二一〇七

2214

内令

整備兵曹長

五人

整備兵曹

十人

整備兵

七十三人

整備兵

普高

六三

掌銃空兵器兵

射爆

雷爆

普高普高

一七四〇四

減員

中少佐

一人

飛行隊長

飛行兵曹

五人(掌飛行兵)

参照 昭和十七年内令第千三百四十五號ハ軍艦龍嶺等ノ人員臨時増減ノ件ナリ

三二〇八

2215

内令第二千三百六十三號

第二十五號掃海艇

右本籍ヲ横須賀鎮守府ト定メラル

昭和十七年十二月二十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第二千三百六十四號

當分ノ間海軍艦政本部、海軍航空本部、海軍技術研究所、海軍工廠、海軍航空技術廠、同支廠、海軍航空廠、同支廠、海軍工作部、海軍火藥廠及海軍燃料廠（特設ノモノヲ含ム）ノ技師定員ニハ別ニ定ムルモノノ外技術科士官（昭和十七年十一月一日海軍技師タリシ者ヨリ技術科士官ニ任用セラレタルモノ）ヲ充ツルコトヲ得

昭和十七年十二月二十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

二一〇九

2216

内令第三千三百六十五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年十二月二十三日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍航空本部

特務士官(飛)、(整) 附 一人

内令第三千三百六十六號

昭和十五年内令第八百七十八號中左ノ通改正ス

昭和十七年十二月二十三日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀第一海兵團ノ項ヲ削ル

参照 前記内令ハ復々海軍航空隊等ノ人員臨時増減ノ件ナリ

内令第三千三百六十七號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

内令

二二二

2217

内令

三二二

昭和十七年十二月二十三日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第六艦隊司令部（運貨筒操縦ニ充ツベキモノ）

兵曹、水兵

十人（特修兵適宜）

内令第三千三百六十八號

昭和十七年内令第八百五十二號中「一人」ヲ「二人」ニ改ム

昭和十七年十二月二十三日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 前記内令第八十一號空艦隊司令部等ノ人員臨時増減ノ件ナリ

内令第三千三百六十九號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年十二月二十三日

海軍大臣 嶋田繁太郎

<p>軍艦阿武隈 兵 曹、水 兵 五人(掌砲兵〔高〕 〔普〕)</p>	<p>内令第三千三百七十號 當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス 昭和十七年十二月二十三日 海軍大臣 嶋田繁太郎 軍艦羽黒 兵 曹、水 兵 五人(掌信號兵 二)</p>	<p>内令第三千三百七十一號 當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス 昭和十七年十二月二十三日 海軍大臣 嶋田繁太郎 軍艦高雄 兵 曹、水 兵 五人(掌信號兵 二)</p>
---	---	--

内 令

二二二三

12219

内令

三二四

内令第三千三百七十二號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年内令第五百七十七號中「迅鯨」ヲ「長鯨」ニ改ム

昭和十七年十二月二十三日

海軍大臣 嶋田繁太郎

軍艦長鯨

機關兵曹、機關兵

九人（掌機兵 補機（高四））

参照 昭和十六年内令第五百七十七號ハ軍艦迅鯨ニ人員臨時増置ノ件ナリ

2220

内令第二千三百七十三號

驅逐隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十七年十二月二十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十五驅逐隊ノ項中「早潮」ヲ削ル

第三十一驅逐隊ノ項中「高波」ヲ削ル

(内令提要卷一、六八頁参照)

内令第二千三百七十四號

潜水隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十七年十二月二十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二潜水隊ノ項中「伊號第十五」ヲ削ル

(内令提要卷一、七〇頁参照)

内令

二二五

2221

内令

二二六

内令第三千三百七十五號

吳鎮守府在籍

驅逐艦 早潮

舞鶴鎮守府在籍

驅逐艦 高波

右帝國驅逐艦籍ヨリ除カル

横須賀鎮守府在籍

伊號第十五潜水艦

右帝國潜水艦籍ヨリ除カル

昭和十七年十二月二十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第三千三百七十六號

驅逐隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十七年十二月二十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

2222

第五驅潛隊ノ項ヲ削ル

(内令提要卷一、七三頁参照)

内令第二千三百七十七號

舞鶴鎮守府豫備艦

軍艦 天龍

右第四豫備艦ト定ム

昭和十七年十二月二十四日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

内令第二千三百七十八號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十七年十二月二十四日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

一等驅逐艦定員表其ノ五中「早潮」ヲ削ル

内令

二二七

2223

内令

三二八

一等驅逐艦定員表其ノ六中「高波」ヲ削ル
一等潜水艦定員表其ノ五中「第十五」ヲ削ル

(内令提要卷一、四一八ノ四六頁参照)

内令第三千三百七十九號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十七年十二月二十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十四中「早潮」及「高波」ヲ削ル
特修兵配置表其ノ十六中「第十五」ヲ削ル

(内令提要卷一、四五三頁参照)

2224

ŌTOMARI; KARAFUTO; KUSHIRO; MOMBETSU;
 ABASHIRI; ~~NEMURU~~; AKKESHI; BIRDO; MURORAN;
 URAKAWA; HAKODATE; ESASHI; AOMORI; OTARU; YOICHI
 SHINAI; RUMOI; MASHIKE; IWANAI; SUITSU;
 TŌKYŌ; YOKOHAMA; TSURUMI; KAWASAKI;
 NAGOYA; FUKUE; TOKOHASHI; TAKEYOYO;
 HANBA; SHIMOTSU; WAKAYAMA; SAKAI; ŌSAKA;
 NISHINONUYA; KŌBE; AMAGASAKI; BEPPU;
 TAKASAGO; SHIKAMA; Ō; MOJI; SHIMONOSEKI;
 KOKURA; ŌITA; TSUKUMI; SAEKI; HOSOSHIMA;
 UBE; ONADA; WAKAMATSU; KUKI NO UMI;
 MIIKE; HAKATA; SUMINOE; NISHITAZAKI
 MISUMI; NAGASAKI; MOGI; TAKASHIMA;
 KUCHINOTSU; NIIGATA; SAKATA; SADO;
 RYŌZU; AIKAWA; MANDWAN; KASHIWAZAKI;
 NAOTSU; FUSHIKI; HIGASHI-IWASE;
 NANAŌ; TSURUGA; FUSAN; REISUI;
 KEIJŌ; MORPO; GUNZAN; JINSEN; SHINGISHŪ;
 KASHŪ; SEISHIN; JŌSHIN; GENZAN; KŌNAN;
 SHAKO; DAIREN; BOKUROSHIN; TA-TUNG-KOU;
 YING-K'OU; HU-LU-TAO; TAKAO;
 AMPIN; NIITAKA;
 KIRUN; SUŌ; KARENKŌ; TAITŌ;
 HIROHATA; MATSURI; BEZAKI; KAITA)

BEPPYŌ Following p. 2117 of December 1942

(ŌMINATO Guard District; YOKOSUKA Naval District;
 ŌSAKA Guard District; KURE Naval District; SASEBO
 Naval District; MAIZURU; CHINKAI Guard District;
 RASHIN Special Base Force; RYOJUN [PORT ARTHUR]
 Special Base Force; BAKŌ Guard District;
 CHICHIJIMA Special Base Force; HACHINOHE;
 NOSHIRO-MINATO; FUNAKAWA-MINATO;
 TSUCHIZAKI-MINATO; MIYAKO; KAMADASHI;
 ŌFUNATO; KESENNUMA; ISHINO MAKI; SHIOGAMA;
 ONAHAMA; MISAKI; URAGA; SHIMIZU;
 YOKKAICHI; TSU; MATSUZAKA; TOBA; ISE;
 KATSURU; KUSHIMOTO; YURA; KOMATSUSHIMA;
 TAKAMATSU; TADOTSU; TAKUMA; NIHAMA;
 IMBARI; KŌCHI; OKAYAMA; UNO; ONO-MICHI;
 HIROSHIMA; TOKUYAMA; BEPPU; TSUKUMI;
 SAEKI; HOSOSHIMA; KARATSU; IMARI; IMAFUKU;
 SAKITO; KAGOSHIMA; SHIBUSHI; MAKURAZAKI;
 KUNIYA; NANA; NAZE; MIYAKO; IRIOMOTE;
 MAIZURU; MIYAZU; SAKAI; CHINKAI; MASAN;
 CHINNAMPO; KENJIHO; HOZAN; RASHIN; YUKI;
 RYOJUN [PORT ARTHUR]; BAKŌ; CHICHIJIMA;
 NANAJIMA; IWO Island; MINAMITORI SHIMA;
 [cont.]

(別紙)

敵潜(飛)ニ依ル被襲撃報告

某地在勤海軍武官府

- 一、船名 噸數 速力 船長名
 - 二、年月日 場所 天候海上模様
 - 三、事前知得ノ敵情警報ノ有無
 - 四、航海上特ニ留意セシ事項
 - 五、航行實施及警戒ノ情況
 - 六、合戦ノ概況
 - 七、被害ノ概要又ハ戦果
 - 八、合戦後ノ處置及行動、味方ヘノ警報
 - 九、護衛艦艇(僚船)ノ處置及行動
 - 一〇、手拔カリ又ハ過誤ナリシト認メラルル諸件
- (イ) 積荷法
- (ロ) 警戒、防水、防火
- (ハ) 通信
- (ニ) 航海
- (ホ) 救難

2227

(別表附録)

鎮、警、根別		港	灣	記	事
海上交通保護ニ關スル鎮守府、警備府、根據地隊ノ直轄港灣					
大 湊 警	八戸、能代、船川、土崎				
横 鎮	宮古、釜石、大船渡、氣仙沼、石巻、塩釜、小名濱、三崎、浦賀、清水(四日市、津松坂、鳥羽)			四日市、津松坂、鳥羽、四日市地方運輸部、鳥羽、伊勢防務ヲ擔當ス	
大 阪、警	勝浦、串本、由良、小松島				
吳 鎮	高松、多度津、詫間、新居濱、今治、高知、岡山、宇野、尾道、廣島、徳山(別府、津久美、佐伯、細島)			別府、津久見、佐伯、細島ハ佐伯防ニ事務ヲ擔當ス	
佐 鎮	唐津、伊萬里、今福、崎戸、鹿兒島志布志、枕崎、古仁屋、那覇、名瀬、宮古、西表、南大東島				
舞 鶴	舞鶴、宮津、境				
鎮 警	鎮海、馬山(鎮南浦、兼二浦、保山)			鎮南浦、兼二浦、保山ハ鎮南浦地方運輸部ニ事務ヲ擔當ス	
羅 津、根	羅津、雄基				
旅 順、根	旅順				
馬 警	馬公				
父 島、特、根	父島、母島、硫黃島、南鳥島				

(別表)

海上交通保護ニ關スル地方在勤海軍武官擔任港灣	
武官府	擔任港灣
大泊在勤海軍武官府	樺太沿岸ノ港灣
釧路在勤海軍武官府	紋別、網走、根室、厚岸、釧路、廣尾
室蘭在勤海軍武官府	浦河、室蘭
函館在勤海軍武官府	函館、江差、青森
小樽在勤海軍武官府	稚内、留萌、増毛、小樽、餘市、岩内、壽都
東京在勤海軍武官府	東京
横濱在勤海軍武官府	横濱、鶴見、川崎
名古屋在勤海軍武官府	名古屋、福江、豊橋、武豊、半田
大阪在勤海軍武官府	下津、和歌山、堺、大阪
神戸在勤海軍武官府	西宮、神戸、尼崎、別府、高砂、節磨、廣畑、相生
門司在勤海軍武官府	關門(六連、小倉、部崎ヲ含ム) 刈田、大分、津久美、佐伯、細島、宇部、小野田
若松在勤海軍武官府	洞海湾
三池在勤海軍武官府	博多、西戸崎、三池、住ノ江、三角
長崎在勤海軍武官府	長崎、茂木、高島、口ノ津
新潟在勤海軍武官府	酒田、新潟、佐渡港灣(兩津、相川、真野港灣) 柏崎、直江津
伏木在勤海軍武官府	東岩瀬、伏木、七尾、敦賀
釜山在勤海軍武官府	釜山、麗水
京城在勤海軍武官府	木浦、群山、仁川、新義州、海州
清津在勤海軍武官府	清津、城津、元山、興南、遮湖、墨湖津
大連在勤海軍武官府	大連、大東溝、營口、胡盧島
高雄在勤海軍武官府	高雄、安平、新高港
基隆在勤海軍武官府	基隆、蘇澳、花蓮港、台東

内令第二千三百八十號

昭和十六年内令第千二百二十六號中左ノ通改正ス

昭和十七年十二月二十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

舞鶴鎮守府ノ項中

第十八戰隊

ヲ削ル

参照 前記内令ハ艦隊等ノ司令部附タル特務士官以下ノ補充鎮守府ノ件ナリ

内令第二千三百八十一號

艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十七年十二月二十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

驅逐艦、一等陽炎型ノ項中「早潮」ヲ、同夕雲型ノ項中「高波」ヲ削ル

潜水艦、一等ノ部中「伊十五型」ヲ「伊十七型」ニ改メ同項中「伊號第十五」ヲ削ル

内令

二二九

2230

内令

(内令提要卷三、三三頁参照)

三三〇

内令第二千三百八十二號

伊號第五十三潜水艦

右本籍ヲ吳鎮守府ト定メラル

昭和十七年十二月二十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第二千三百八十三號

特設艦船部隊令中左ノ通改正セラル

昭和十七年十二月二十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二條第三號中「特設防空隊」ノ次ニ「特設衛所隊」ヲ加フ

第六十四條ノ十六ヲ第六十四條ノ二十二トシ以下第六十四條ノ二十一迄順次繰下ク

第十五章ノ四ノ次ニ左ノ如ク加フ

2231

第十五章ノ五 特設衛所隊

第六十四條ノ十六 特設衛所隊ハ必要ノ場所ニ之ヲ置キ第一衛所隊、第二衛所隊等ト呼稱ス

第六十四條ノ十七 特設衛所隊ハ防備衛所ヲ設營シ水中聽音等ニ依ル敵情偵知又ハ管制機雷ニ依ル

敵艦船攻撃ニ關スルコトヲ掌ル

第六十四條ノ十八 特設衛所隊ニ左ノ職員ヲ置ク

隊長

附

第六十四條ノ十九 特設衛所隊長ハ直屬上官ノ命ヲ承ケ隊務ヲ統理ス

第六十四條ノ二十 隊長缺員中又ハ事故アリテ其ノ職務ヲ執ルコト能ハサルトキハ部下ノ將校軍令

承行順序ニ從ヒ其ノ職務ヲ代理ス

第六十四條ノ二十一 附ハ上官ノ命ヲ承ケ服務ス

(内令提要卷一、六〇頁参照)

内令第二千三百八十四號

特設艦船部隊定員令中左ノ通改正セラル

内令

三三三

2232

内令

二二三二

昭和十七年十二月二十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設衛所隊定員表ヲ別表ノ如ク定ム

(別表一葉添)

(内令提要卷一、五六四ノ一〇頁参照)

内令第二千三百八十五號

南西方面艦隊民政部令中左ノ通改正セラル

昭和十七年十二月二十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二條中「竝ニ小スンダ列島(チモールヲ除ク)ヲ削リ「及チモール」ヲ「及小スンダ列島」ニ改

(内令提要卷一、三〇ノ八一頁参照)

2233

第三十六表ノ五

特設衛所隊定員表

(昭和十七年内令第二千三百八十四號)

考 備	計 士 官 四人	附 兵科尉官 三		隊 長 兵科佐尉官 一		兵 曹 長 一		
		主 計 兵 三	衛 生 兵 三	機 關 兵 六	水 兵 四十四	主 計 兵 曹 一	機 關 兵 曹 三	兵 曹 長 一
一 本表定員ハ衛所三箇所ノモノヲ標準トシ衛所ノ増減ニ伴ヒ一箇所ニ付兵科尉官一人、兵曹 九人、機關兵曹一人、水兵十三人及機關兵二人ヲ増減ス	二 兵科尉官ハ特務士官(水)、兵曹長ヲ以テ充ツルコトヲ得	三 特修兵ハ左ノ標準ニ依ル	四 掌機雷兵水測二十七 掌電信兵九 掌信號兵十四 掌電機兵六 掌經理兵一 管制機雷ヲ供給セラレザル場合ハ本表定員ヨリ兵曹六人及水兵九人(掌機雷兵水測)ヲ減 ズ	兵 五十六人	下 士 官 三十三人	准 士 官 一人		

内令第二千三百八十六號

昭和十七年内令第九百六十六號中左ノ通改正ス

昭和十七年十二月二十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「セレンベス民政部シンガラジャ支部」ヲ「セラム民政部シンガラジャ支部」ニ改ム

参照 昭和十七年内令第九百六十六號ハ南西方面艦隊民政部ノ支部ヲ置ク等ノ件ナリ（内令提要卷一、三〇ノ八七頁）

内令第二千三百八十七號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十七年十二月二十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

掃海艇定員表其ノ一中「第二十二號」ノ下ニ「第二十五號」ヲ加フ

（内令提要卷一、四一八ノ七八頁参照）

内令

二二三

2235

内令第二千三百八十八號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十七年十二月二十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十八掃海艇ノ部中「第二十二號」ノ下ニ「第二十五號」ヲ加フ

(内令提要卷一、四五六ノ五頁参照)

内令第二千三百八十九號

横須賀鎮守府在籍

第二十五號掃海艇

右當分ノ間定員ヲ置カズ

昭和十七年十二月二十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第二千三百九十號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十七年十二月二十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

一等潜水艦定員表其ノ六中「第五十二」ノ下ニ「第五十三」ヲ加フ

(内令提要卷一、四二八ノ六九頁参照)

内令第二千三百九十一號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十七年十二月二十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十六中「伊號第五十二」ノ下ニ「伊號第五十三」ヲ加フ

(内令提要卷一、四五六頁参照)

内令第二千三百九十二號

昭和十五年内令第六百二十一號中左ノ通改正ス

内令

三三三三

2237

Correction made

内令

二二六

昭和十七年十二月二十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「早潮」ヲ削ル

参照 前記内令ハ軍艦長門等ノ人員臨時増減ノ件ナリ

内令第二千三百九十三號

吳鎮守府在籍

伊號第五十三潜水艦

右當分ノ間定員ヲ置カズ

昭和十七年十二月二十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

○正誤

本年内令第千五百二十九號中「六人」ハ「五人」ノ、「四」ハ「三」ノ誤

内令第二千三百九十四號

艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十七年十二月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

潜水艦、二等呂三十五型ノ項中「呂號第三十八」ノ下ニ「呂號第三十九」ヲ、同呂百型ノ項中「呂號第九」ノ下ニ「呂號第一百、呂號第一百一」ヲ加フ

海防艦、占守型ノ項中「隱岐」ノ下ニ「壹岐」ヲ加フ

掃海艇、第十九號型ノ項中「第二十六號」ノ下ニ「第二十八號」ヲ加フ

驅潜艇、第十三號型ノ項中「第四十三號」ノ下ニ「第四十四號」ヲ加フ

(内令提要卷三、三三頁参照)

内令第二千三百九十五號

特務艦類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十七年十二月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

三二七

2239

内令

二二二八

運送艦、足摺型ノ項中「足摺」ノ下ニ「塩屋」ヲ、同洲埼型ノ項中「洲埼」ノ下ニ「高崎」ヲ加フ

(内令提要卷三、四〇頁参照)

内令第二千三百九十六號

右本籍ヲ横須賀鎮守府ト假定ス

右本籍ヲ吳鎮守府ト假定ス

第二十八號掃海艇

第四十四號驅潜艇

特務艦 高崎

海防艦 壹岐

呂號第一百潛水艦

呂號第一百一潛水艦

特務艦 塩屋

2240

右本籍ヲ佐世保鎮守府ト假定ス

右本籍ヲ舞鶴鎮守府ト假定ス

呂號第三十九潜水艦

舞鶴鎮守府在籍(假定)

呂號第百九潜水艦

右假定本籍ヲ佐世保鎮守府ニ改ム

昭和十七年十二月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第二千三百九十七號

吳鎮守府所管

特設運送船(雜用船)牟婁丸

右特設病院船ト改ム

昭和十七年十二月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

二二二九

2241

内令

二一三〇

内令第二千三百九十八號

特設海軍航路部等ノ所管、所屬、名稱及所在地ノ件中左ノ通改正セラル

昭和十七年十二月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

吳鎮守府ノ部中

支那方面艦隊

牟婁丸海軍病院

特設運送船牟婁丸内

ヲ削ル

(内令提要卷一、三八ノ三七頁參照)

内令第二千三百九十九號

昭和十五年内令第六百四十六號申左ノ通改正ス

昭和十七年十二月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

牟婁丸海軍病院ノ項ヲ削ル

參照 昭和十五年内令第六百四十六號ハ特設海軍工作部等ノ所掌區分等ヲ定ムルノ件ナリ(内令提要卷一、三八ノ四八頁)

2242

内令第二千四百號

特設艦船部隊定員令中左ノ通改正セラル

昭和十七年十二月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設病院船定員表ヲ別表ノ如ク改ム

(別表一葉添)

64/12/21/36

(内令提要卷一、五四六頁参照)

内令第二千四百一號

特設艦船部隊特修兵配置表中左ノ通改正ス

昭和十七年十二月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設艦船部隊特修兵配置表備考中第八號ヲ第九號トシ以下順次繰下グ第七號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

八 特設病院船(一五〇人乃至二〇〇人、三、〇〇〇噸未満)ニハ掌機雷兵ハ之ヲ配置セズ

内令

二二三一

2243

内令

(内令提要卷二、五八九頁参照)

二二三二

内令第二千四百二號

未成ノ運送艦塩屋ノ定員表(假定)ハ運送艦足摺ノ定員及特修兵ノ員數ト同一トス

未成ノ運送艦高崎ノ定員表(假定)ハ運送艦洲崎ノ定員及特修兵ノ員數ト同一トス

未成ノ海防艦壹岐ノ定員表(假定)ハ海防艦占守ノ定員及特修兵ノ員數ト同一トス

未成ノ呂號第三十九潜水艦ノ定員表(假定)ハ呂號第三十五潜水艦ノ定員及特修兵ノ員數ト同一トス

未成ノ呂號第百十及呂號第百十一潜水艦ノ定員表(假定)ハ呂號第百潜水艦ノ定員及特修兵ノ員數ト同一トス

未成ノ第二十八號掃海艇ノ定員表(假定)ハ第十九號掃海艇ノ定員及特修兵ノ員數ト同一トス

未成ノ第四十四號驅潛艇ノ定員表(假定)ハ第十三號驅潛艇ノ定員及特修兵ノ員數ト同一トス

昭和十七年十二月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第三千四百三號

昭和十七年内令第九百十二號中左ノ通改正ス

昭和十七年十二月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀鎮守府ノ部中横須賀第二海兵團ノ項「三」ヲ「四」ニ改メ父島方面特別根據地隊ノ項ノ次ニ

千島方面特別根據地隊

一

ヲ加ヘ

横須賀第一海兵團兵科分隊長ノ欄「二」ヲ併號第十五潜水艦、呂號第一百一潜水艦及呂號第一百二潜

水艦ノ項ヲ削ル

吳鎮守府ノ部中早潮、呂號第百四潜水艦及呂號第百五潜水艦ノ項ヲ削ル

佐世保鎮守府ノ部中呂號第六十二潜水艦、呂號第六十五潜水艦及呂號第六十七潜水艦ノ項兵科分隊

長ノ欄ニ各「一」ヲ加ヘ呂號第百六潜水艦及呂號第百七潜水艦ノ項ヲ削ル

舞鶴鎮守府ノ部中刈萱ノ項ノ次ニ

呂號第六十三潜水艦

一

ヲ、呂號

第六十四潜水艦及呂號第六十八潜水艦ノ項兵科分隊長ノ欄ニ各「一」ヲ加フ

内令

一一三三

2245

内令

備考第六號ヲ削リ第七號ヲ第六號トシ第八號ヲ第七號トス

参照 前記内令ハ科長兼分隊長等定員中特務士官ヲ以テ充ツベキ位置ヲ定ムル件ナリ

二三四

2246

内令第二千四百四號

右海軍籍ヲ佐世保鎮守府ト定メラル

伊號第七十八潜水艦

佐世保鎮守府在籍

伊號第七十八潜水艦

呂號第六六潜水艦

呂號第七七潜水艦

右警備潜水艦ト定メラル

昭和十七年十二月二十六日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

内令第二千四百五號

海軍定員令中左ノ通改正セラレ

昭和十七年十二月二十六日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

内令

二三五

2247

内令

二二三六

一等潜水艦定員表其ノ一中「第七十六」ノ下ニ「第七十八」ヲ加フ

(内令提要卷一、四一八ノ五四頁参照)

内令第二千四百六號

特修兵教員配置規則申左ノ通改正ス

昭和十七年十二月二十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十六中「第七十六」ノ下ニ「第七十八」ヲ加フ

(内令提要卷一、四五四ノ二頁参照)

2248

第二十五表

特設病院船定員表

(昭和十七年内令第二千四百號)

備考	備	計	乘組衛生中少尉	主計長 主計科 佐尉官	乘組 藥劑科 佐尉官	軍醫科 佐尉官	第二部長 軍醫大 中佐	第一部長 軍醫大 中佐	病院長 軍醫大 佐	收容患者數、噸數			
										噸以上	三〇〇人	乃五	三〇〇人
一 必要ニ應ジ軍屬ヲ乘組マシムルコトヲ得 二 第一(二)部長(兼務)ハ病院長ヲ以テ兼補ス	特務士官	士官	十四人	二人	二人	八人	一人	一人	一人	噸以上	三〇〇人	乃五	三〇〇人
		兵	十三人	二人	二人	七人	一人	一人	一人	噸以上	三〇〇人	乃五	三〇〇人
		准士官	八人	一人	一人	六人	一人	一人	一人	噸以上	三〇〇人	乃五	三〇〇人
		兵	九人	一人	一人	七人	一人	一人	一人	噸以上	三〇〇人	乃五	三〇〇人
		衛生兵曹長	衛生兵曹	衛生兵曹	衛生兵曹	衛生兵曹	衛生兵曹	衛生兵曹	噸以上	三〇〇人	乃五	三〇〇人	
		衛生兵曹	衛生兵曹	衛生兵曹	衛生兵曹	衛生兵曹	衛生兵曹	衛生兵曹	噸以上	三〇〇人	乃五	三〇〇人	
		衛生兵曹	衛生兵曹	衛生兵曹	衛生兵曹	衛生兵曹	衛生兵曹	衛生兵曹	噸以上	三〇〇人	乃五	三〇〇人	
		衛生兵曹	衛生兵曹	衛生兵曹	衛生兵曹	衛生兵曹	衛生兵曹	衛生兵曹	噸以上	三〇〇人	乃五	三〇〇人	

内令第二千四百七號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年十二月二十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍機關學校

衛生兵曹、衛生兵

三人

内令第二千四百八號

昭和十七年内令第千十八號中左ノ通改正ス

昭和十七年十二月二十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「佐世保海軍軍需部」ヲ

「吳海軍軍需部」ニ、
「佐世保海軍軍需部」ニ、

「機關科特務士官、准士官」ヲ「特務士官（機）、機關兵曹長」ニ改ム

參照 前記内令ハ機須賀海軍軍需部（魚雷調整場關係業務ニ充ツベキモノ）ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令

二一三七

2250

内令

二三八

内令第二千四百九號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増減ス

昭和十七年十二月二十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

軍艦那珂

増員

中 少 尉 乗組

一人

兵 曹、水 兵

十八人(掌砲兵〔高四〕)

減員

機關兵曹、機關兵

五人(掌機兵 罐〔高四〕)

内令第二千四百十號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年十二月二十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

2251

父島方面特別根據地隊

主計兵 二人

内令第二千四百十一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増減ス

昭和十七年十二月二十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

増員

第二南遣艦隊司令部

兵曹水兵

十人 (掌電信兵 七 (佐世保鎮守府在籍者))

第二十四特別根據地隊

兵曹水兵

十七人 (掌電信兵 一五 (舞鶴鎮守府在籍者) 掌暗號兵 二 (佐世保鎮守府在籍者)) 一〇五

第二十三航空戰隊司令部

兵曹水兵

四人 (掌電信兵 三 掌暗號兵 一)

減員

内令

二二三九

2252

内令

二四〇

第十一通信隊

兵曹、水兵

十人(掌電信兵)

内令第二千四百十二號

昭和十七年内令第四百三十六號中左ノ通改正ス

昭和十七年内令第千二百九十二號ハ之ヲ廢止ス

本令ハ昭和十八年一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十七年十二月二十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第七潜水戦隊司令部ノ部ヲ左ノ如ク改ム

第七潜水
戦隊司令部

附

三人

(吳、佐世保、
舞鶴鎮守府在籍者各一人)

四十八人

(掌水雷兵)

(高三四
普二四)

横須賀鎮守府在籍者
吳鎮守府在籍者
佐世保鎮守府在籍者
舞鶴鎮守府在籍者

高普高普高普高普高
五六五五五五五五
六六八八八八八八

2253